

地域創生・国際交流会館の完成

2015(平成27)年9月

2015(平成27)年、能動的な学習を促す語学教育、地域住民や外国人留学生、日本人学生など多様な人々との交流を図るコミュニケーションラウンジ、地域からの相談・要望に一元的に対応するワンストップ窓口、多様な人達と未来志向の対話セッションを行うフューチャーセンターなど様々な機能を備えた施設として「地域創生・国際交流会館」を新設した。

その中でも5階にあるフューチャーセンター「A.BA(アバ)」は、徳島大学が設置する国立大学初のフューチャーセンターであり、未来志向で対話し、変化を起こして行く“場”、従来のアプローチでは対処できない社会課題を解決するイノベーションプラットフォームとして、所属や立場の異なる多様な関係者が集まり、中長期的な目的設定のもと、新たなアイデアや解決手段を見つけ出し、実現に向けた共創、実践の場として機能する。

スペーステクノロジーを取り入れたオープンスペースに多様な什器を配置し、柔軟なレイアウト、構成、憩い、集い、遊び、食、DIY、伝統、文化の要素を取り入れ、自由な発想を促す空間となっている。

9月24日に挙行了した完成記念式典及びフューチャーセンター・オープニングセレモニーでは内閣府特命担当大臣(当時)の山口俊一氏から「地方創生、活性化には、まさに地方大学は知の拠点として期待している。産学官のみならず金融機関も含めた組織が相集い、連携して、まさに地方創生に資する動きをお願いしたい」また徳島県知事の飯泉嘉門氏からは「地方創生の新たな1ページとなる地域創生・国際交流会館のオープンにあたり、地方創生の旗手“徳島”、さらには日本創生の礎を徳島から築いていくきっかけとなるよう期待する」とそれぞれ祝辞をいただいた。

